



てんえいしょうだより

「てらす笑顔がひろがる みんなが主役
笑顔をたいせつに いつでもやさしい天栄小学校」

鈴鹿市立天栄小学校
発行 校長 松岡 宏樹

令和8年5月20日
No. 06

一年生をむかえる会

5月13日(水)、天栄小学校児童会の主催の児童集会の中で、一年生をむかえる会をしました。6年生のお兄さんお姉さんから手作りのメダルをいただきました。そのあと、全校で、天栄小学校についてのクイズ、進化じゃんけんで、みんなで盛り上がりました。



《児童会会長あいさつ》

「わからないことがあれば、お兄さん、お姉さんに聞いてください。私たちといっしょにたくさんの思い出をつくっていきましょう。」

6年生から、メダルのプレゼント



「進化じゃんけん」
じゃんけんに勝ったら、虫→動物→人間へと進化していき、最後は神様になって、舞台に集まります。



「天栄小学校クイズ」

- 天栄小学校の全校児童の人数は何人でしょうか。
①700人 ②513人 ③315人
- 天栄小学校で飼っているうさぎの名前は何でしょうか。
①モナカ ②チョコ ③きなこ
- 音楽室はいくつあるでしょうか。
①1つ ②2つ ③3つ



【保護者の方への連絡～スクールバスについて】

《スクールバスについて》

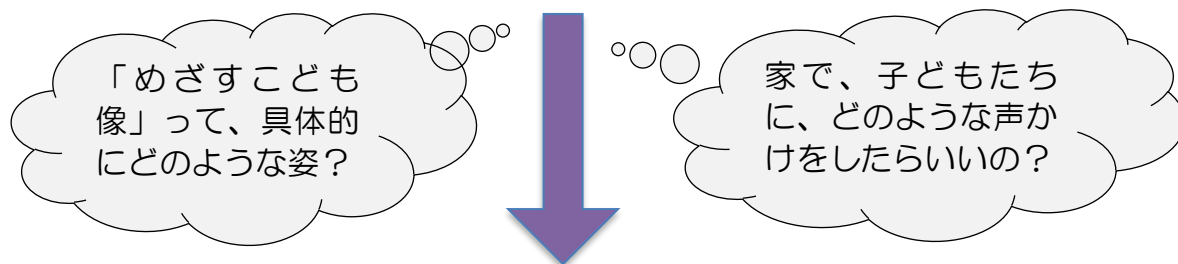
- ①二次元コード(QRコード)を忘れても、バスに乗車することができます。その時は、確認のため運転手から「学年、組、名前」が聞かれるかもしれません。
- ②朝の登校時のバスは、定刻で出発します。乗車できなかった場合は、保護者の方で学校に送っていただきますようお願いいたします。
- ③下校時は、4台のバス全員そろってから、出発します。予定が変更になって、バスに乗らない場合は、必ず連絡帳を通じて担任に連絡をしてください。

学校運営協議会

5月14日(木), 第一回学校運営協議会を開催し, 校長から今年度の学校経営方針について説明し, 承認していただきました。委員については, 旧合川小、旧天名小、旧郡山小から5名ずつの合計15名となります。今後も委員の皆様と協働し引き続き地域と一体となった学校づくりを進めていきたいと思ひます。協議会は6回を予定しています。

【天栄小学校のめざすこども像】

- ①主体的・自律的・協同的に学び続け、新たな価値を創造するこども
- ②多様性を認め合い、尊重し、自分らしく輝くこども
- ③困難に立ち向かい、しなやかに生きるこども



①「主体的・自律的・協同的に学び続け、新たな価値を創造するこども」

→自ら学び、新たな価値を創り出すことができる力をつけてほしい。

これからは「正解のない問い」に立ち向かう力が求められます。誰かに言われてやるのではなく、「知りたい！」「やってみたい！」という好奇心を原動力に、仲間と協力しながら新しい答えを見つけていく姿です。

ご家庭でのヒント：結果(点数)だけでなく、「どうやって工夫したか」「どれだけ粘り強く取り組んだか」というプロセスを具体的に褒めてあげてください。その積み重ねが、一生モノの「やりぬく力」に繋がります。

②「多様性を認め合い、尊重し、自分らしく輝くこども」

→「違い」を力に変え、自分らしく輝いてほしい

「みんな違って、みんないい」。言葉では簡単ですが、自分と違う意見や個性を尊重するには、まず自分自身が「ありのままの自分でいいんだ」と思える強い自己肯定感が必要です。

ご家庭でのヒント：「〇〇ちゃん是可以するのに」という比較ではなく、「昨日のあなたと比べて、ここが伸びたね」という視点を大切にしましょう。自分を認められる子は、他人の良さにも自然と目が向くようになります。

③「困難に立ち向かい、しなやかに生きるこども」

→折れない心で、しなやかに生きる

人生には、思い通りにいかないことや失敗がつきものです。大切なのは、転ばないことではなく、「転んでもまた立ち上がれる」こと。竹のように、風に吹かれてもしなやかにしなる強さ(レジリエンス)を育てたいと考えています。

ご家庭でのヒント：お子様が失敗した時、すぐに手を貸したり、叱ったりするのを少しだけ待ってみてください。「どうすれば次はうまくいくかな？」と一緒に考える時間は、困難を乗り越える知恵と勇気を育む貴重なチャンスになります。